

ひだまり

ぽかぽかと暖かい陽だまりには
自然と人が集まってくる。
摺沢もそんな町に

発行：令和8年1月27日
発行元：摺沢市民センター
☎0191-75-2229



❀❀❀ 年頭にあたりまして ❀❀❀

摺沢振興会長 小原 雪男

明けましておめでとうございます。令和8年が穏やかにスタートしましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は大船渡線の一ノ関、摺沢間が開通しまして100年の記念事業として、記念式典や写真展、記念映画会等を皆様のご協力を得て実施いたしました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。また、マルシェの開催も他団体との協賛事業ではございましたが、成功いたしました。

さて、本年は岩手県立大東高校が、摺沢家政女学校としてスタートしてから100年の年にあたります。地区民として心からお祝いをいたしましたと思っております。また、市民センターの運営も3年目に入っております。地域に愛されるセンターとして運営を充実させてまいりたいと願っております。

大東地域6協働体で運用しております「だいとうメール」は、設備の老朽化による故障のため利用できない期間があり、大変ご迷惑をおかけいたしました。順調に利用者数を伸ばしており、協賛いただく企業も増えており、感謝申し上げます。

当振興会といたしましては、理事の皆様のご協力を得て「第2次まちづくり計画」の推進を図ると共に連絡調整機能の充実、さらに、市民センター運営を大切にしながら、本年も活動してまいりたいと思っております。摺沢地区の皆様から振興会に対する色々なご意見、ご提言をいただきながら、更により良いものに高めてまいりたいと存じますので、本年もご支援をよろしくお願いいたします。



新年交賀会を開催 —多くの参加者で新年をお祝い—

摺沢振興会・自公連・行政区長会・商工振興会・市民センターが主催



1月10日（土）大東コミュニティセンターを会場に、令和8年摺沢地区新年交賀会を開催しました。

会の冒頭、一関市長（代理：佐藤信彦大東支所長）、飯沢匡県議会議員、勝浦伸行一関市議会議長から大船渡線開業100周年や大東高等学校開校100周年の話題とともに、次代へ向けた摺沢地区の発展について期待と激励のご祝辞をいただきました。130人の参加者は、お互いに今年1年の健康と多幸を祈りながら交流を深めました。



楽しく懇談される皆さん



市民歌の伴奏はハビネスさんのオカリナで



祝舞：芸文協摺沢 和賀玲子さん



婦人会さん笑顔でピース☺(・̀・)！



—合計100マス— 超大作！！ 「巨大スゴロクを作って遊ぼう〜♪」

大東コミュニティセンターで1月6日（火）、巨大サイズのすごろくを使ったイベントを開催しました。

大東高校の生徒たちが中心となり、大東小学校の子どもたちと昔の正月遊びのすごろくを、一緒に製作し、巨大サイコロをふり、体験する世代間交流会です。

高校生はマスの内容を考える手助けをしたり、遊び方を説明したりと、子どもたちをリード。参加した子どもたちは、高校生と協力しながら完成させた巨大すごろくの上を元気いっぱい飛んだり跳ねたり進み、大盛り上がりでした。

高校生が企画・運営に関わることで、世代を超えた交流が生まれ、伝統的な遊びの楽しさも味わえ、とても有意義な楽しい時間をみんなで共有しました。



マスには面白い指示が書いてあり、「一番悪かったテストの点を言うー！なんていうのも！



大東高校生・中学生と一緒に！ ☆...□...○...☆... 学びの土曜塾 謎解き「DaitoQuest〜立体魔法陣の秘密〜」に挑戦！

1月8日（木）、一関市民俗資料館で学びの土曜塾＜冬休み編＞を行いました。『民俗資料館に突如現れた立体魔法陣の謎を解き明かす！』ために参加児童が班で力を合わせて取り組みました。

今回小学生のお手伝いで大東中学生のジュニアスタッフと謎解きの重要人物として大東高校生が参加してくれました。謎解き以外にも工作や一日のまとめの時にも手伝ってくれて、すっかり子どもたちも慣れて最後には一緒に遊んだりする姿も。特に高校生のお兄さんたちに子どもたちが集まっている姿はとても微笑ましかったです(*^^*)

（本来立体魔法陣は「方」の字を用いますが、今回はストーリー上「法」の字を使用しています。）



謎の答えは14です！
合ってますか？



大東高校生と一緒にある事をするのがクリアの条件！



「駅の映画会」有終の美飾る ～大船渡線開業100周年記念イベント～

12月27日（土）大東コミュニティセンターで大船渡線開業100周年記念イベント「駅の映画会」第3弾を開催しました。今回は浅田次郎原作中井貴一主演の「壬生義士伝」の上映です。幕末の京都を舞台に、南部藩から脱藩した武士の生き様を描いた感動作です。年末にも関わらず沢山の方が来場され、第27回日本アカデミー賞最優秀作品賞に輝いた名作を鑑賞しました。

主人公の武士としての信念と故郷の家族への想いが交錯する物語の終盤には、あちらこちらから観客の皆さんのすすり泣く声。また上映後、皆さんから「とてもよかったよ」「感動したよ」とたくさんのお声をいただきました。

一年を通して開催した、大船渡線開業100周年記念イベント「駅の映画会」最後の上映を感動の涙で締めくくることができました。来年度以降も駅の映画会は続けていきますので、楽しみにお待ちください！



みなさん、ご来場ありがとうございました！

本年も玄関に「門松」 ありがとうございました。

年の瀬を迎え、昨年につき、藤城武さんが手作りした門松を市民センター正面玄関に飾っていただきました。玄関まわりが一新にお正月らしい雰囲気になりました。

門松は、年神様をお迎えするための日本の伝統的な正月飾り。立派な竹、松、南天と華やかな雰囲気新年の期待感が膨らみました。

御寄贈頂き本当にありがとうございました。





大東高校通信



「伝統」「食」で地域とつながる 大東高生！

→12月3日、鹿踊部が大東小学校の「大東地域文化・伝承活動鑑賞会」に招待され、他団体とともに出演しました。部員からは「将来入部してもらえるよう頑張った」との声がかれました。また鹿踊部は7日の大東芸術祭郷土芸能発表会にも出演し、観客を魅了しました。



←16日、PTA 会員交流会「年越しそばを作ろう」を開催しました。地元でそば打ちをやっていらっしゃる方を講師に迎え、11名が参加しました。粉をこね、延ばし、切る工程を体験し、最後に打ち立てのそばを味わいました。

→18日、進路報告会を実施しました。就職・進学別に進路先が決定した3年生数名が1・2年生に試験対策や学校生活の心構えを助言し、後輩たちは真剣に耳を傾けていました。



こども園だより



あけましておめでとうございます！

令和8年がスタートしました。1月14日(水)には、園でまゆ玉ならしがあり、3~5歳児の縦割りのグループで、白と3色のお団子を作り、自分たちで作った折り紙の飾り物もミズキに飾りました。2歳児もお団子作りに混ざったり、0・1歳児は飾り付けをみたり園全体で雰囲気を楽しみ、今年の五穀豊穡・無病息災を願いました。

地域のみなさま、令和8年もよろしくお願いたします。



雪が降ったら子ども達は大喜び♡そり滑りやかまくら作りをしながら真白な雪で元気に遊びました。何回雪で遊べるかな？



一年の無病息災を願い

～搦沢どんと祭が行われました～



1月11日(日)国際医療福祉専門学校一関校グラウンドで搦沢どんと祭が行われました。

現在どんと祭は、これまで行ってきた駅前町内会有志の皆さんが高齢化に伴い終了することを受け、昨年からは搦沢にゆかりのある若い世代の皆さんが新たに実行委員会を立ち上げ、どんと祭を引き継いで行っています。

「少子高齢化が進む中で地域の賑わいを取り戻したい、若い世代同士顔の見える関係をつくりたいといっ

た思いがあり『それなら自分たちで何かやってみよう』と声が上がったのがきっかけです。どんと祭を通じて改めて搦沢のよさを感じてもらえる場になったのなら嬉しいですね。」と事務局の方がお話ししてくださいました。



人口統計

令和8年1月1日現在()内は前月比

一関全体	人口	103,444人 (Δ218)
	男	50,564人 (Δ112)
	女	52,880人 (Δ106)
	世帯数	46,185戸 (Δ110)
大東地域	人口	11,043人 (Δ21)
	男	5,458人 (Δ7)
	女	5,585人 (Δ14)
	世帯数	4,797戸 (0)
搦沢地区	人口	2,571人 (1)
	男	1,234人 (4)
	女	1,337人 (Δ3)
	世帯数	1,119戸 (1)

栃折沢自治公民館 新年初笑い親睦会

1月18日(日)栃折沢自治公民館で新年初笑い親睦会が行われました。自治会に加入しているほとんどの世帯が参加したそうで、会場は満員御礼!

昨年4月の総会時に役員間で「次の新年親睦会は初笑いだな」という話をしていたそうで、講師に菊池公雄さんをお招きしてホラ話を披露いただきました。公雄さんの流暢な語り口から繰り広げられるホラ話にみんな大爆笑。

「ホラは人の心を和やかにします。ウソは人を傷つける。」ホラ話の最初に公雄さんが語ったこの言葉が非常に心に残ったよと参加した方がお話ししてくれました。



メモを取って聞く方もいたほど好評でした!



縄をなうには熟練の技が必要です!

松原自治会 しめ縄づくり

12月14日(日)松原自治会でしめ縄づくりが行われました。講師を自治会員の藤城武さんが務め、6人の参加者で新年に向けてお正月飾りのしめ縄を作りました。

これは自治会員の菊池貴則さんからのリクエストから企画したそうです。「詳しくわかる人が少なくなってきたかと思いました。ネットで調べたらわかるかもしれませんが、そうではなく直に先輩方から教えていただきたいと思いました。1回では難しかったので、1年後を楽しみにしています。」と菊池さんがお話ししてくれました。



子どもたちがおばあちゃん・お母さんたちと一緒に団子を丸め、おじいちゃん・お父さんたちとミズキに団子を飾りました!

多世代交流まゆ玉ならし開催!

1月11日(日)長者自治会と多面的事業がコラボレーションして「多世代交流まゆ玉ならし」が行われました。大人・子どもと合わせて45人もの参加がありました。

またお昼からは長者自治会の新年交流会を行い、まゆ玉ならしでたくさん作ったお団子は「だんご汁」「あずき団子」として振舞われ、美味しくいただいたそうです。一緒に防災・避難訓練も行ったそうで、限られた時間を有効に使って飲んで食べておしゃべりをして楽しく過ごし、今年1年の良いスタートを切ることが出来たそうですよ。



Vol. 84

菅原 心音さん
(高校通り)

1月11日、今年も華やかに「二十歳の集い」が開催されました。今月のまちひとはその二十歳を迎えた方にお話を聞いてまいりました! お話して下さったのは菅原心音(こね)さん。心音さんは現在看護師を目指して勉強中。自宅から市内の学校に通っていらっしゃいます。「中学生の時に祖父が在宅療養をしていて訪問看護師さんが家に来ていました。自分にとって看護師

さんが身近な存在になり、自分も知識や考えを深めて地域医療に貢献したいと思いました。」と、現在の道を志望した理由をお話ししてくれました。

どの質問にも明るく答えてくれる心音さん。聞くと、全く人見知りをしないそうです。コミュニケーションをとるのが大好きですと答えてくれました。

「マスクをして患者さんと接しますから声のトーンも明るく、目でも表情を伝えられるようにしています。患者さんとの関係はコミュニケーションが軸になると思います。患者さんの状況、情報が少しでも多くわかればすぐに報告も出来ますし、対応も広がります。」とお話ししてくれました。

学校卒業後は急性期医療に携わりたいと希望を述べてくれました。ゆくゆくは目指すきっかけとなった訪問看護にも。そこで生かせるように経験と学びを深めていきたいそうです。たくさん元気をもらえる心音さんの明るい笑顔と笑い声。きっと患者さんを支える力になります! 夢に向かって頑張ってください!

